



令和 8年 5月 1日
佛教大学附属こども園

「仏教保育 5月のねらい」
じかいわごう
持戒和合

「はじめてできたんだよ！」

園庭での4歳児の姿です。

A君は進級し、新しい環境になってから毎日不安そうな表情で登園していました。登園後は無量寿の森のフェンスまで行き、保護者とバイバイをすることがルーティーンになっていましたが、バイバイした後も気持ちの整理がつかずに悶々としているような様子が見られました。

ある日のことです。数名の子どもたちと保育者が雲梯で遊んでいました。

雲梯にぶらさがる子もいれば、梯子をのぼる子、横のバーの上に立ってつたい歩きをする子…遊び方は色々です。その様子を少し離れたところからじっとみていたA君。そんな時に雲梯の上に登ったBちゃんが「みて～！」とプールを指さしました。

その場にいた子は「なににに！？」と興味深く集まってきました。

A君も近寄ってきて、梯子をのぼり始めました。A君の慎重な様子を見て保育者は「あれ？怖いけどがんばっているのかな？」と感じ、A君が梯子を数段登ったところで「そんなところまで登れるの！？すごいね。」と驚いた様子で声をかけました。するとA君の口元が少し緩み、雲梯の上を四つ這いでゆっくり渡り始めたのです。しばらくA君は黙ったまま同じことを繰り返していましたが、近くにきた私にニコッと笑って自信満々に「はじめてできたんだよ！」と自分から話してくれました。

きっとA君は時間をかけて周りの様子を観察してから取り組むお子さんなのでしょう。友だちや保育者の姿を見て自分から「やってみよう」と思えたこと、やってみたことで「僕ってすごい！」と思えたこと、それを誰かと共有したいと発信できたこと…A君の心が動いた瞬間に立ち会えたことを嬉しく思いました。これからも「好き」「おもしろい」と思えることをたくさん見つけていってほしいと願っています。



保護者の方においては、我が子だけを見ていると「これでいいのかな」「昨年度までは喜んで登園していたのに、なぜだろう」「おやおや？」と不安に思われることがあるかと思えます。

そんなときこそ、「こころのねっこ」が豊かに育つときです。一緒に心配したり、喜んだり、子どもたちのことを気かけながら共に育っていきましょう。どうぞよろしく願います。

5月の保育のねらいは じかいわごう 「持戒和合～きまりを守り園生活を楽しもう～」です。

楽しく園生活を送ることができるようにも、一人ひとりの子どもたちの好きな場所、好きな人、好きなこと、好きなものがゆっくりでも見つかることを願っています。

副園長 宇佐美景子

